

## (別紙 12)

## 大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

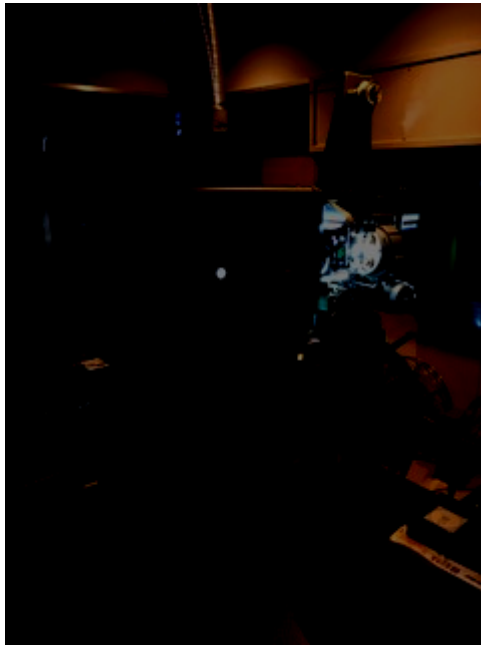
※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭
実習期間	平成 30年 2月 19日 ～ 平成 30年 2月 23日
学生氏名	横山 絢大
実習プログラム	<p>《ドキュメンタリー映画を体験してみませんか？～高校生による上映会～》 運営補助</p> <p>2月14日 (水) 事前訪問 オリエンテーション</p> <p>2月19日 (月) 上映会アンケート集計・分析</p> <p>2月20日 (火) &lt;ドキュ山ライブ！&gt;ブログ記事を執筆</p> <p>2月21日 (水) 会議資料作り、ブログ記事執筆</p> <p>2月22日 (木) ブログ執筆</p> <p>2月23日 (金) 金曜上映会運営補助、ブログ執筆・掲載</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>私は実習をするにあたり、「映画祭事業と上映会・ライブラリー事業において楽しんでもらえるための工夫を知る」「映画が観客に届くまでのプロセスを知る」「たくさんの人と接してコミュニケーションスキルを磨く」というテーマのもと一週間の実習をさせて頂いた。実習を通して今の自分自身に足りないスキルについて知ることができた。また、実習先の方々と過ごした一週間という短い間だったが、映画業界のことに限らず、ためになるたくさんのお話を学ぶことができた。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>私は五日間のインターンシップを通して、コミュニケーション力、社会人としてのマナーなどまだまだ未熟であると痛感させられました。一日一日与えられた作業に取り組んだが、そのほとんどが慣れていないパソコンを使っての作業ということで集中しすぎてしまい周りの方のことまで考えられませんでした。それに伴い飲み物を作ったり、皿洗いをしたりなどという作業を行うこともありませんでした。これをしてと言われてただその職務をこなすのではなく、もっと周りの方々がなにをなされているか、何を必要とされているのかと察知する能力・それらにともない行動が社会では求められていると感じました。また、上映会の後に行なわれた打ち上げや実習先の方々と昼食をとる際などに映画のことにかかわらず様々なことについて話せたことは自分が将来社会に出て働くためにもいい勉強になった。今回の行ったインターンシップで得た様々な経験を糧として学びに活かしていきたいです。また、自分に足りないと思った能力を身につけ、今持っている能力を伸ばしていくためにもたくさんの物事に果敢に挑戦していく所存です。</p>

インターンシ  
ップをして気づ  
いた、実習先の魅力  
(300字)

インターンシップをする前はどんな感じの職場で、実習し易いのかと不安でしたが、いざ実習してみると変に緊張することもなく作業に取り組み、事務局の方々とも休憩時間中に話すなどとても楽しい実習先でした。

写真 (1~3点)



金曜上映会



映画祭に送られてきたドキュメンタリー映画の数々